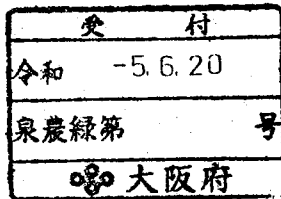


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年6月20日

大阪府知事 殿



提出者

住 所 〒590-0526

大阪府泉南市男里5丁目20-1

バンドー化学株式会社 南海工場

氏 名 工場長 青砥 正秀

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-482-7711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	バンドー化学株式会社 南海工場
事業場の所在地	大阪府泉南市男里5丁目20-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	233：ゴム製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：32,535.4百万円
③従業員数	628人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(2022年度)実績】

産業廃棄物の種類	①粉まがね (フロ-図A, B)	②廃プラスチック類 (大袋, ガ, J) (フロ-図A, D)	③廃プラスチック類 (三光ゴム屑) (フロ-図A)	④廃プラスチック類 (合成樹脂類(大袋)) (フロ-図B, D)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂類(大袋)) (フロ-図B, D)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂類(三光)) (フロ-図B)	⑦廃プラスチック類 (合成樹脂類(大袋)) (フロ-図A, B)	⑧木くず (フロ-図E)	⑨蛍光灯 (フロ-図E)	⑩ガラスくず (三光, ダイカ) (フロ-図E)	⑪がれき類, 破片 (コンクリート, 破片) (フロ-図E)	⑫乾電池 (フロ-図E)	⑬廃油 (ダイセキ, レッ クス) (フロ-図E)	⑭汚泥 (無機汚泥水) (フロ-図C)
排出量	0 t	1564.3 t	71.09 t	154.546 t	16.09 t	43.28 t	151.12 t	4.24 t	4.13 t	2.04 t	0 t	30.26 t	10.91 t	

①現状
これまでに実施した取組
製造部による継続的な不良廃棄(廃プラスチック類 合成ゴムくず削減)への取組み
新ラインによる継続的な不良廃棄(廃プラスチック類削減 合成ゴムくず)への取組み
照明機器LEDに伴う蛍光灯廃棄物削減への取組み
廃プラスチック類 合成樹脂類廃棄物分別による有償売却先の検討

【目標】

産業廃棄物の種類	①粉まがね (フロ-図A, B)	②廃プラスチック類 (大袋, ガ, J) (フロ-図A, D)	③廃プラスチック類 (三光ゴム屑) (フロ-図A)	④廃プラスチック類 (合成樹脂類(大袋)) (フロ-図B, D)	⑤廃プラスチック類 (合成樹脂類(三光)) (フロ-図B)	⑥廃プラスチック類 (合成樹脂類(大袋)) (フロ-図A, B)	⑦一般廃棄物 (新日本) (フロ-図D, E)	⑧木くず (フロ-図E)	⑨蛍光灯 (フロ-図E)	⑩ガラスくず (三光, ダイカ) (フロ-図E)	⑪がれき類, 破片 (コンクリート, 破片) (フロ-図E)	⑫乾電池 (フロ-図E)	⑬廃油 (ダイセキ, レッ クス) (フロ-図E)	⑭汚泥 (無機汚泥水) (フロ-図C)
排出量	29.55 t	1424.715 t	75.81 t	198.7 t	9.4 t	66.41 t	178.36 t	0.3325 t	7.733 t	9.785 t	0.1 t	28.747 t	10.36 t	

②計画
今後実施する予定の取組
製造部による継続的な不良ロス削減課題の推進
新ラインによる継続的な不良ロス課題の推進
廃プラスチック類 合成樹脂類廃棄物分別による廃棄物削減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組 有機性汚泥粉末・廃プラスチック類(合成ゴムくず)・廃油・廃プラスチック類(合成樹脂類(大袋))・がれき類・コンクリート破片・破片・発煙筒・乾電池をそれぞれに分別し、保管している。
②計画	今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度 (2022年度) 実績】														
産業廃棄物の種類	①特殊汚泥 (フロ-固A, B) (フロ-固B)	②溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	③溶アスチック類 (3次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A)	④溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑤溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	⑥溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑦一般廃棄物 (紙, 白, 三光) (フロ-固A, B)	⑧木くず (フロ-固B)	⑨廃光灯 (フロ-固B)	⑩ガラスくず (3次, 7(カ)3(同) (フロ-固B)	⑪がれき類 コンクリート類 (フロ-固B)	⑫電線類 (フロ-固B)	⑬汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)	⑭汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)
①現状	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

自ら行う産業廃棄物の再生利用なし

【目標】														
産業廃棄物の種類	①特殊汚泥 (フロ-固A, B) (フロ-固B)	②溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	③溶アスチック類 (3次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A)	④溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑤溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	⑥溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑦一般廃棄物 (紙, 白, 三光) (フロ-固A, B)	⑧木くず (フロ-固B)	⑨廃光灯 (フロ-固B)	⑩ガラスくず (3次, 7(カ)3(同) (フロ-固B)	⑪がれき類 コンクリート類 (フロ-固B)	⑫電線類 (フロ-固B)	⑬汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)	⑭汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)
②計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

自ら行う産業廃棄物の再生利用、計画なし

【前年度 (2022年度) 実績】														
産業廃棄物の種類	①特殊汚泥 (フロ-固A, B) (フロ-固B)	②溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	③溶アスチック類 (3次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A)	④溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑤溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	⑥溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑦一般廃棄物 (紙, 白, 三光) (フロ-固A, B)	⑧木くず (フロ-固B)	⑨廃光灯 (フロ-固B)	⑩ガラスくず (3次, 7(カ)3(同) (フロ-固B)	⑪がれき類 コンクリート類 (フロ-固B)	⑫電線類 (フロ-固B)	⑬汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)	⑭汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)
①現状	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

自ら行う産業廃棄物の再生利用、計画なし

【前年度 (2022年度) 実績】														
産業廃棄物の種類	①特殊汚泥 (フロ-固A, B) (フロ-固B)	②溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	③溶アスチック類 (3次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A)	④溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑤溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	⑥溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑦一般廃棄物 (紙, 白, 三光) (フロ-固A, B)	⑧木くず (フロ-固B)	⑨廃光灯 (フロ-固B)	⑩ガラスくず (3次, 7(カ)3(同) (フロ-固B)	⑪がれき類 コンクリート類 (フロ-固B)	⑫電線類 (フロ-固B)	⑬汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)	⑭汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)
①現状	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

自ら行う産業廃棄物の中間処理なし

【目標】														
産業廃棄物の種類	①特殊汚泥 (フロ-固A, B) (フロ-固B)	②溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	③溶アスチック類 (3次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A)	④溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑤溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, D) (フロ-固B)	⑥溶アスチック類 (4次, 7(カ)3(同) A(7)類) (フロ-固A, B) (フロ-固B)	⑦一般廃棄物 (紙, 白, 三光) (フロ-固A, B)	⑧木くず (フロ-固B)	⑨廃光灯 (フロ-固B)	⑩ガラスくず (3次, 7(カ)3(同) (フロ-固B)	⑪がれき類 コンクリート類 (フロ-固B)	⑫電線類 (フロ-固B)	⑬汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)	⑭汚泥 (産業廃棄物) (ダイゼキ, レック ス) (フロ-固B)
②計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

自ら行う産業廃棄物の中間処理、計画なし

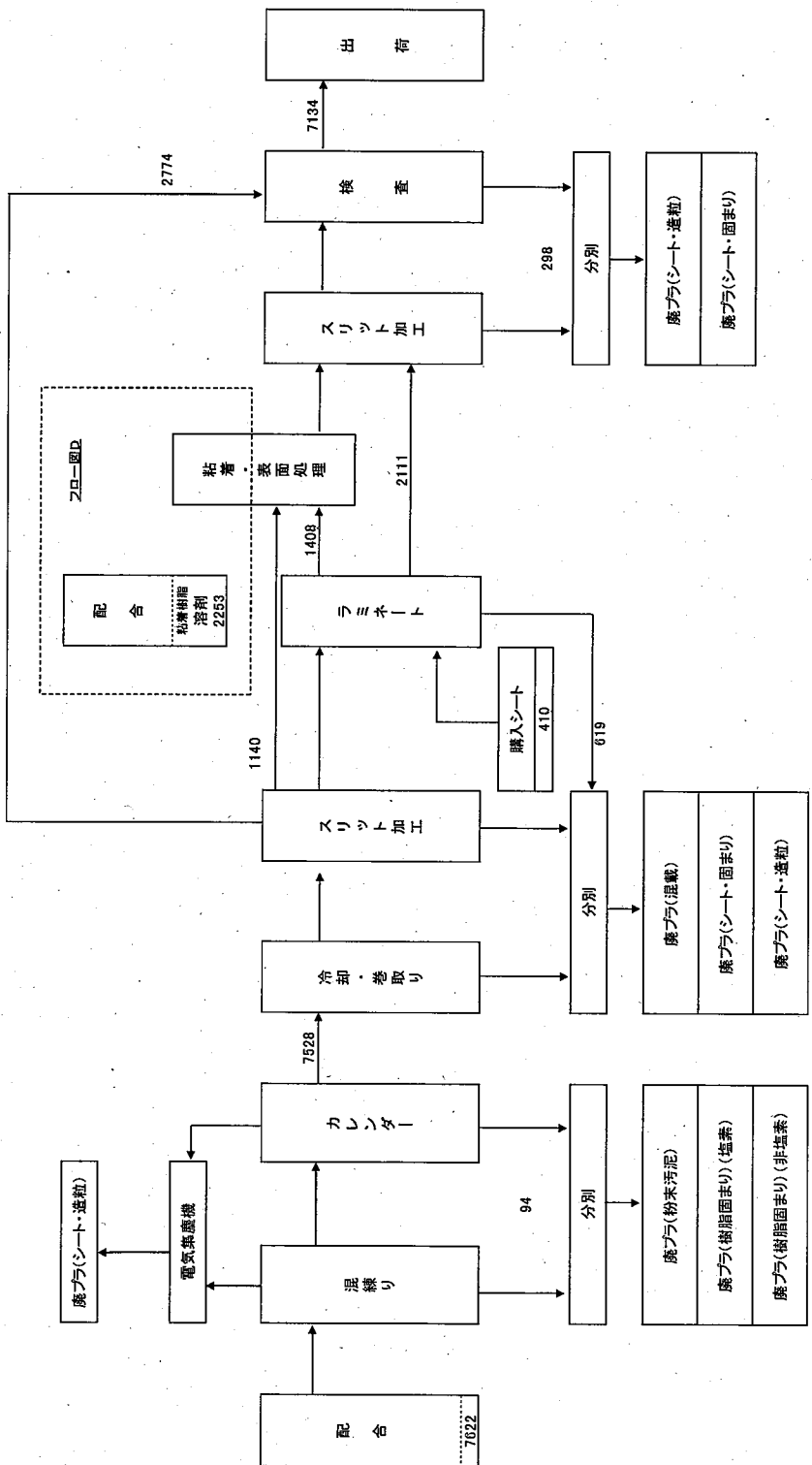
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(2022年度)実績】												
産業廃棄物の種類	①処理容量 (フロート量、D)	②アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	③アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	④アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑤アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑥アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑦アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑧アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑨アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑩アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑪アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分なし												
【目標】												
②計画	産業廃棄物の種類	①処理容量 (フロート量、D)	②アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	③アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	④アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑤アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑥アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑦アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑧アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑨アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑩アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑪アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分、計画なし												

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(2022年度)実績】											
産業廃棄物の種類	①処理容量 (フロート量、D)	②アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	③アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	④アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑤アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑥アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑦アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑧アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑨アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑩アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)	⑪アクリル系樹脂 (粉末、片状、塊状) (フロート量、D)
①現状	全処理委託量	1564.3 t	71.09 t	154.546 t	16.09 t	151.12 t	43.28 t	4.24 t	4.13 t	2.04 t	30.26 t
	委託先事業者への委託委託量	0 t	71.09 t	154.546 t	16.09 t	151.12 t	43.28 t	4.24 t	4.13 t	2.04 t	30.26 t
	委託先事業者への委託委託量	-	-	-	-	-	43.28 t	-	-	-	-
	委託先事業者への委託委託量	1564.3 t	71.09 t	154.5 t	16.1 t	151.12 t	-	-	-	-	30.26 t
	委託先事業者への委託委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(このままに実施した項目)											
産業廃棄物の処理、収集運搬の委託基準を遵守する産業廃棄物処理業者を選定しています。											
また年に1回、産業廃棄物の処理状況を確認し、定期的に排出物測定管理システム(電子モニタリング)にて、産業廃棄物処理業者許可証、収集運搬業者許可証等を確認している。											

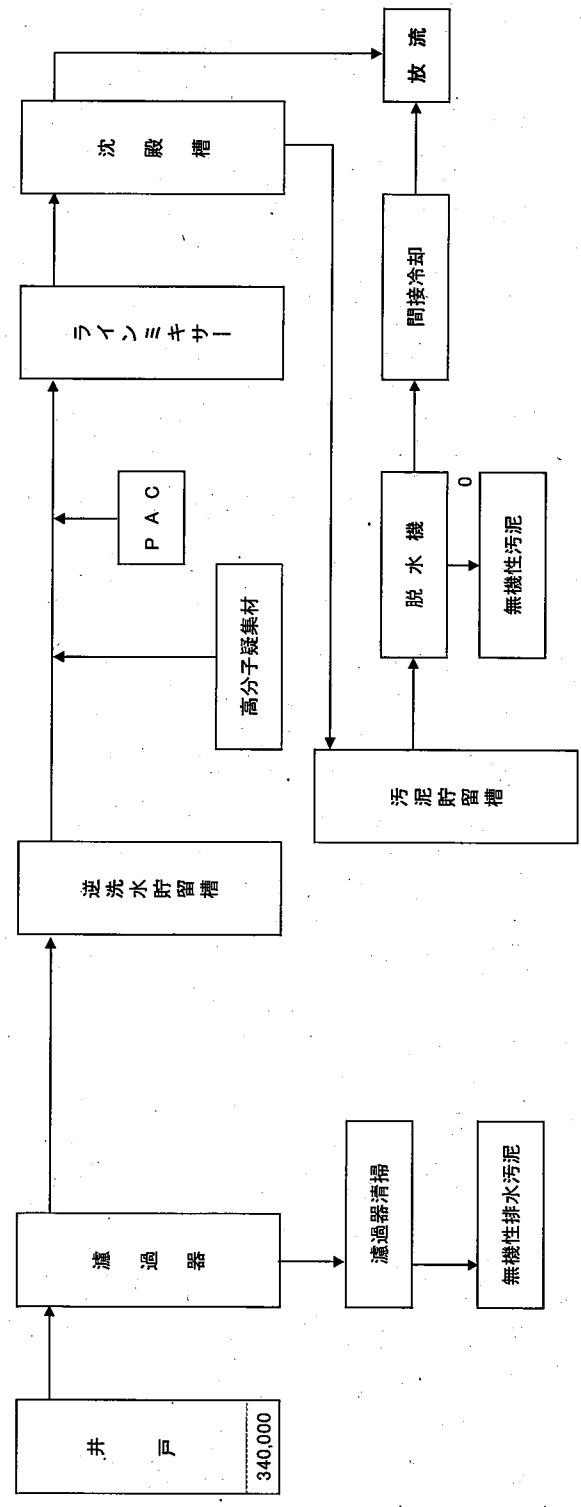
フロー図B フィルムシート製造工程



フロー図C 井水濾過器逆洗水処理フロー

2023年6月報告用

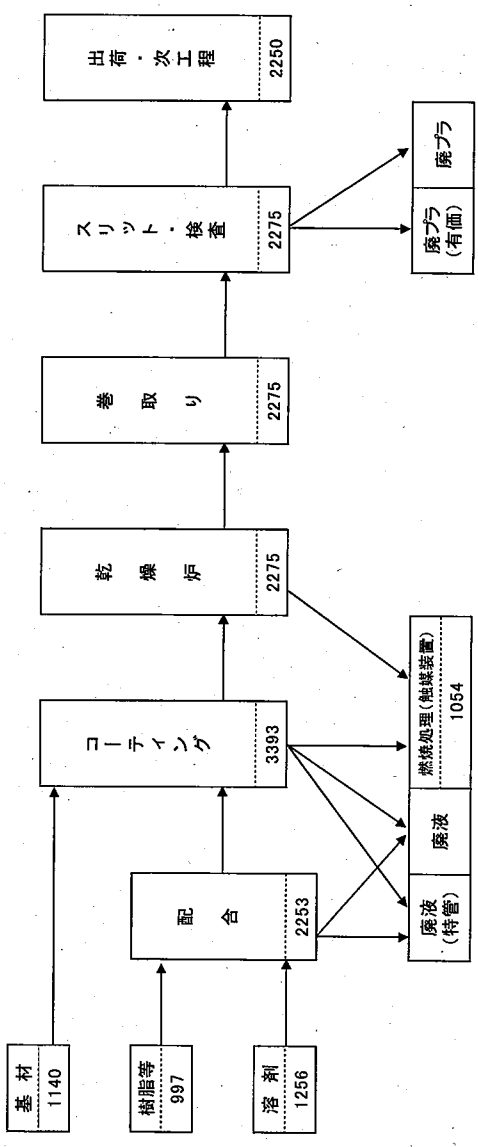
単位：トン



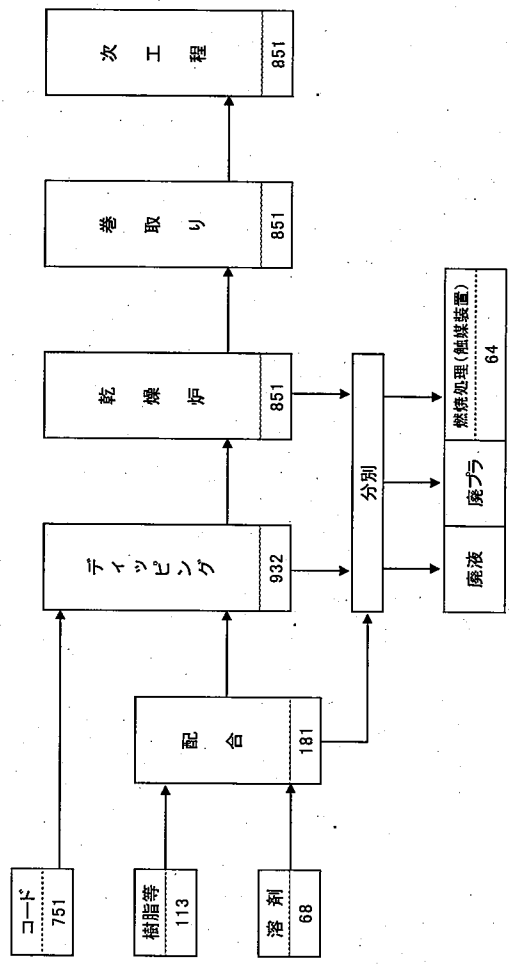
フロー図D 表面処理・粘着工程

2023年6月報告用

単位：トン



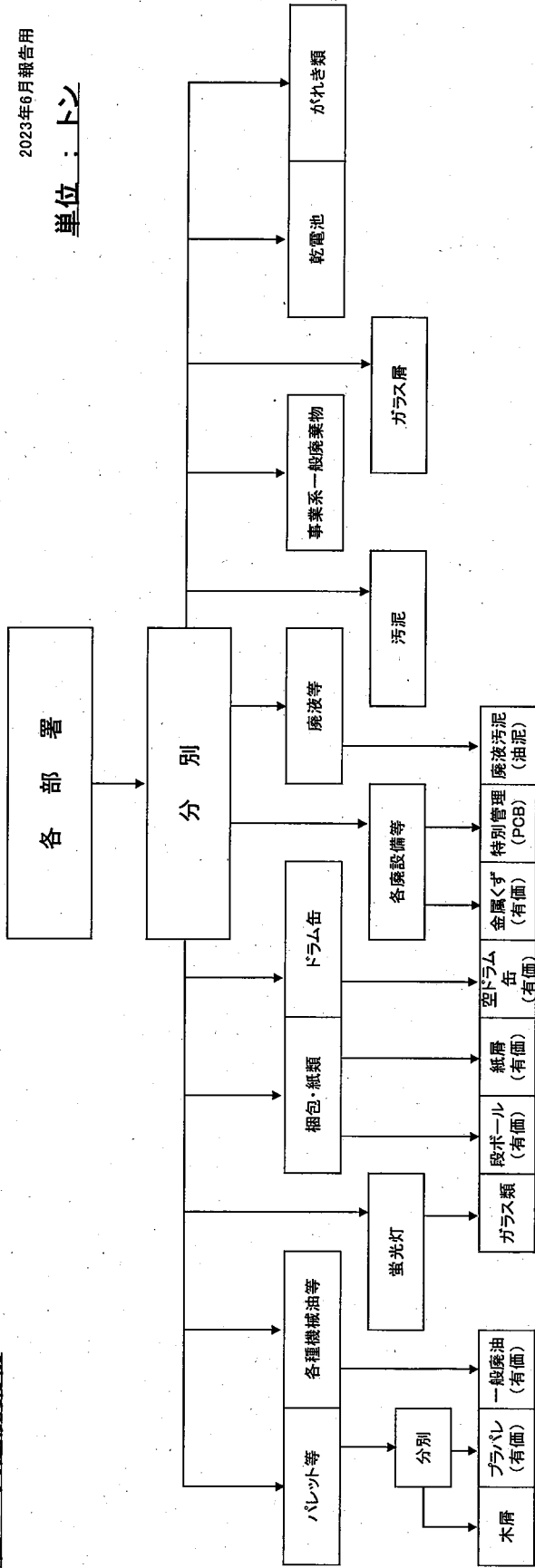
フロー図D ディッピング工程



フロー図E 共通廃棄物

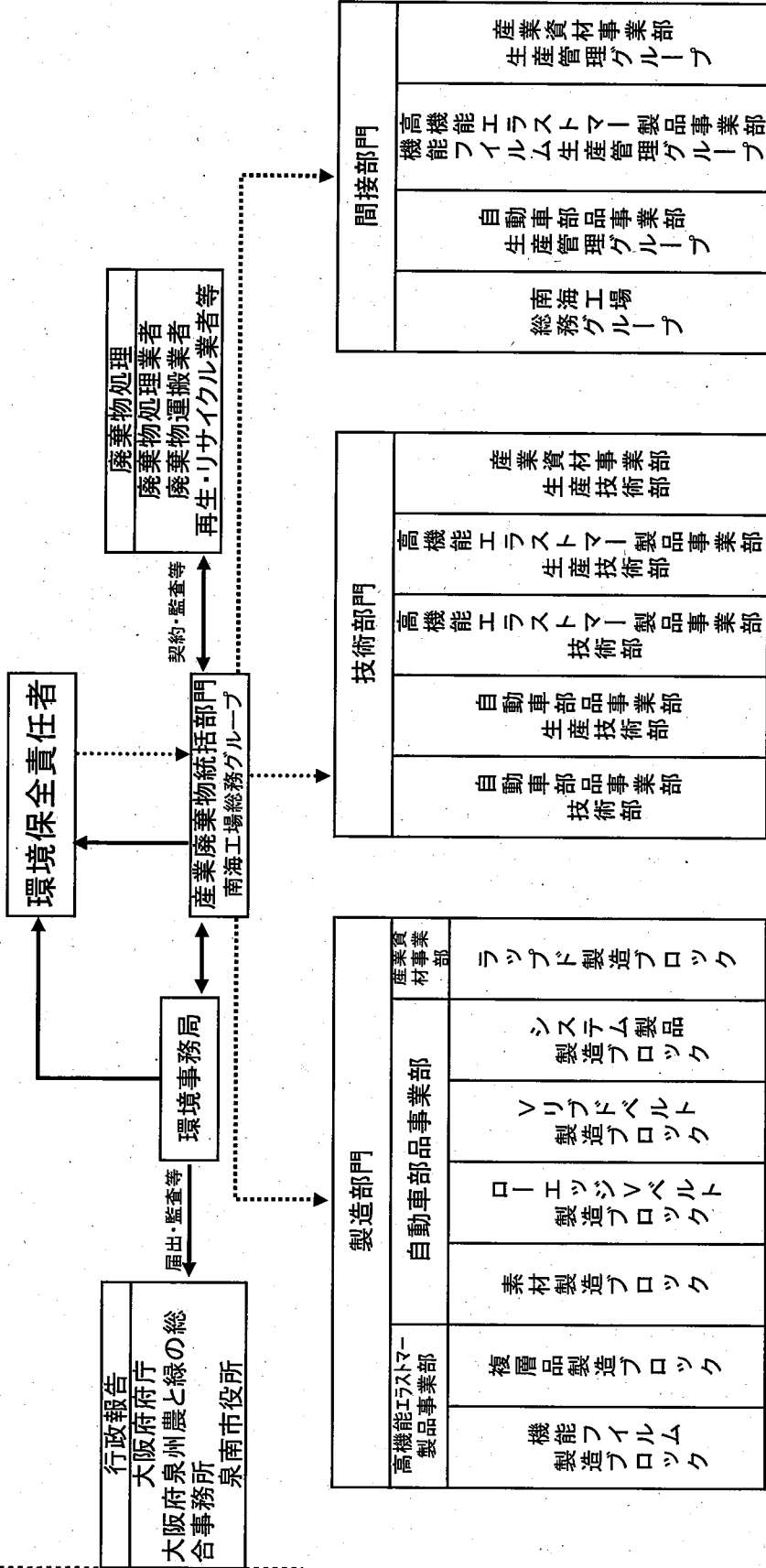
2023年6月報告用

単位：トン



作成日:1999年9月23日
 改正日:2023年4月1日

南海事業所 廃棄物管理組織図と役割



↑ 報告 (Reporting)

↔ 相互連絡 (Mutual Communication)

⋯ 指示 (Instruction)